

# 特定非営利活動法人 移動支援 Rera



## 2018 年度 事業報告書

2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日

### 《事業報告書概要》

0. 団体概要	……2
I. 移動困難な住民の送迎支援活動	……4
II. 福祉有償運送事業	……10
III. 情報収集・調査・情報発信事業	……10
IV. 住民同士の交流・親睦事業	……16
V. その他の事業	……16
VI. 運営に関する報告	……17



## 団体概要

### 【特定非営利活動法人移動支援 Rera 定款第 3 条】

この法人は、移動困難な住民に対して、送迎活動等のサポート事業を行うことにより、生活する上で必要不可欠な移動手段を確保し、彼らの健全な生活の維持に寄与することを目的とする。

### 団体のあゆみ

- 2011年 3月11日 東日本大震災発災
- 3月15日 NPO 法人ホップ障害者地域生活支援センターが宮城県石巻市入り  
被災障害者の支援を行いつつ瓦礫撤去、避難所設営、物資整理等に協力。
- 4月8日 現地支援活動団体名を『災害移動支援ボランティア Rera』と決定  
活動内容を「移動困難な被災住民の送迎」に集中させる。
- 2012年 4月1日 運営主体が石巻地区の住民ボランティアに移行  
行政・民間連携による『石巻地区災害移動支援連絡会』開催（～翌年3月）
- 2013年 2月15日 宮城県認証の『NPO 法人移動支援 Rera』設立  
地域住民主体の団体として移動支援活動を継続。



### ◆活動開始から 2019 年 3 月末までのデータ

累積送迎人数（2011年5月～）	..... <b><u>158,965</u></b> 名
送迎名簿登録者数（2011年7月～）	..... <b><u>1,653</u></b> 名
車両総走行距離（計算値含む）	..... <b><u>約 173 万</u></b> km (地球約 43 周)
レラメイト登録者数	..... <b><u>377</u></b> 名

## 移動支援 Rera の目指す社会

---

『移動手段を持たず外出できない住民が、送迎支援や助け合い、公共交通など、それぞれに適した方法で外出手段を得ることにより、心身の健康維持や生きがいづくりなどにつながり、健全で心豊かな生活を送ることができる社会』

### 2018 年度事業活動方針（事業計画書より）

---

震災から 7 年が過ぎ、まちの復興が進む中、地域の内包する被災の影響や「取り残されている人々」の存在は、外部から目を向けられる機会を失いつつある。

当団体による送迎利用者は名簿の累積登録者数で 1500 名、レラメイト登録者は 350 名を越え、紆余曲折ながらも継続した送迎を続けてきた。送迎人数はのべ 14 万名を越えており、課題を抱えた住民の生活に欠かせない存在となってきた。

一方で、我々だけでは送迎を受けきれず断るケースも後を絶たず、特に人工透析患者の送迎の負担が大きく、困り度の高い方でも送迎ができないという場合がある。

2018 年度は、これまで培われてきた社会からの信頼と繋がりを大切にしながら、より「仕組み」として地域での役割を担う存在を目指し、他団体や行政との連携構築に努力する。

また、利用者の受け入れ基準の検討や福祉有償運送の導入等、送迎の形態をあらためて再確認し、今後も持続する組織を目指す。

移動困難者が抱える生活上の困りごとの解消、外出や交流の機会創出、公共交通の利用促進等、送迎だけではなくさまざまな方法で、移動を軸とした「暮らしやすいまち」への取り組みを進める。

# 事業報告

## I. 移動困難な住民の送迎支援活動

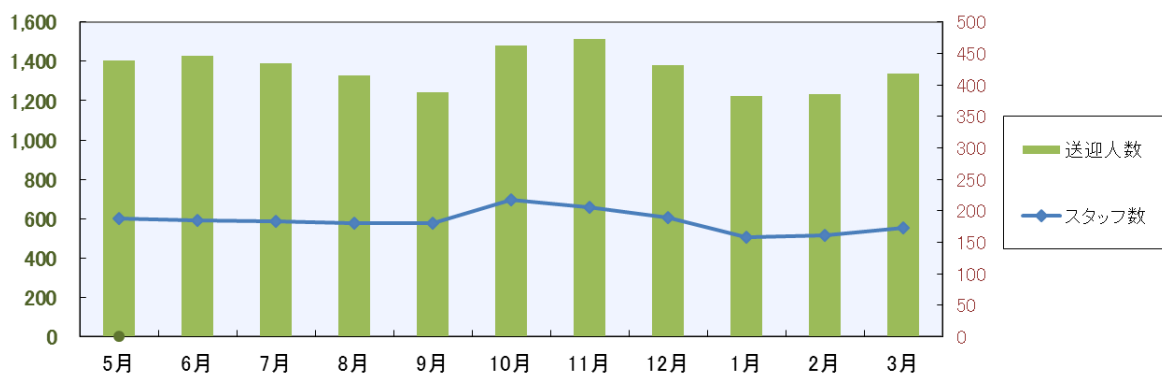
《Iの事業に要した費用》…8,777千円



### I-1. 【移動困難な住民の送迎】

移動支援Rera 2018年度送迎集計

	2018年										2019年				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	日平均
送迎人数	1,384	1,405	1,429	1,389	1,327	1,244	1,481	1,512	1,378	1,223	1,235	1,338	16,345	1,362	60
送迎回数	1,152	1,173	1,170	1,146	1,072	1,032	1,191	1,210	1,126	990	1,007	1,099	13,368	1,114	49
スタッフ数	172	188	185	184	181	180	217	206	189	158	161	173	2,194	183	8.0



### 【活動実績】

#### 《実施期間》

2018年4月1日～2019年3月31日のうち、日曜、元日、研修、総会を除く毎日。

(年末年始、お盆、ゴールデンウィーク期間は一部透析送迎のみ。)

## 《実施内容》

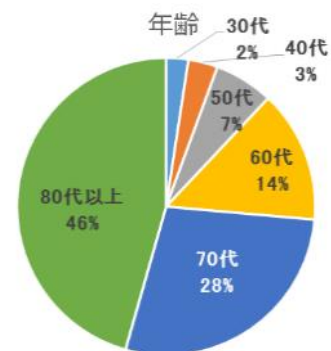
- ◆ 送迎対象者…公共交通による移動が困難で、家族などが送迎できず、高額な交通費の支払いが経済的に困難な住民。
- ◆ 送迎範囲…石巻市・東松島市・女川町の住民。送迎の利用上限は基本的に週2回まで。
- ◆ 送迎形態…道路運送法上「登録を要さない」無償の範囲内として、送迎にかかる実費程度として、2kmごとに100円を『協力費』として利用者をお願いした。
- ◆ 利用希望者は『同意書』『申告書』を団体へ提出。団体は名簿登録して管理。
- ◆ 2017年1月より、新たな送迎利用者との支え合いの会員制度『レラメイト』を開始している。
- ◆ 年間合計のべ **16,345** 名、月平均 **1,362** 名の送迎を行った。
- ◆ 団体の中心的な活動であり、2018年度も多くのスタッフやボランティアの協力、寄付や補助金等の助けを受けて、大きな変更や中断なく継続した送迎を行うことができた
- ◆ 利用者会員制度『レラメイト』新規登録者は20名程度の増加。ただし、継続手続きをしていない利用者、死去した利用者等もいるため、全体的には微増程度と思われる。
- ◆ 車両8台（うち6台福祉車両）を使用しているが、平日の稼働台数は6台前後。送迎ニーズはあるがスタッフが不足している状況。
- ◆ 年間走行距離：160,510km 一日平均走行距離：534km

## 【利用者アンケート】 アンケート実施期間 2019年1月～2月

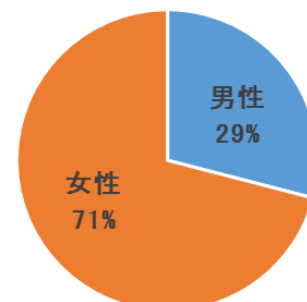
- ◆ 当団体と内閣府による利用者向けアンケート調査を実施した。（以下一部抜粋）
- ◆ 体が不自由、目が見えにくい等の利用者にも丁寧に聞き取りを行い、7～8割程度の高い回収率で、一般のアンケートでは収集しにくい方々の声を集める事ができた。

### ①利用者年齢

30代	3
40代	4
50代	8
60代	18
70代	35
80代～	57
記述なし	0
合計	125



### 性別

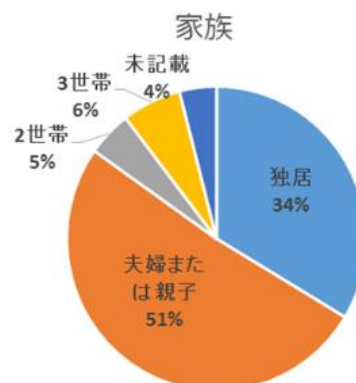


### ②性別

男性	36
女性	88
記述なし	1
合計	125

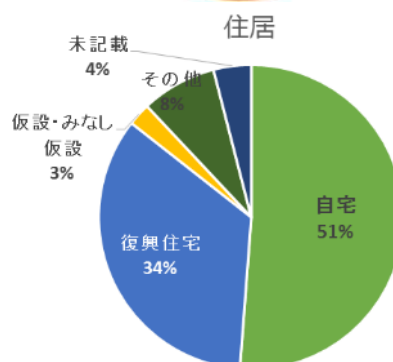
### ③家族構成

ひとり暮らし	42
親子／夫婦のみ	64
2世帯	6
3世帯	8
記述なし	5



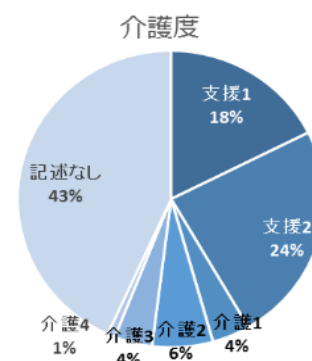
### ④住宅

自宅	64
復興住宅	43
仮設・みなし仮設	3
その他	10
記述なし	5



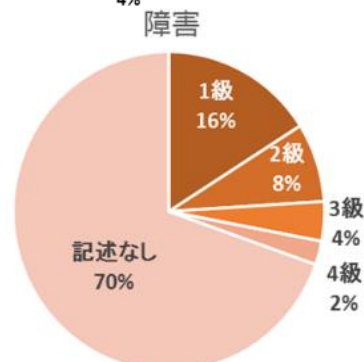
### ⑤介護度

要支援 1	22
要支援 2	30
要介護 1	5
要介護 2	8
要介護 3	5
要介護 4	1
記述なし	54



### ⑥障害

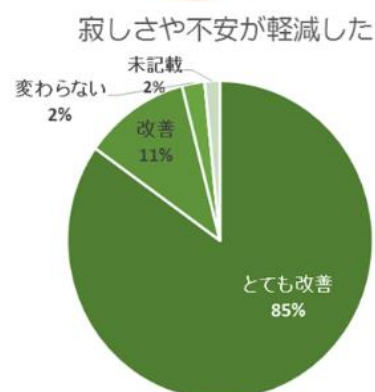
1級	20
2級	10
3級	5
4級	3
記述なし	87



### 《送迎による効果》

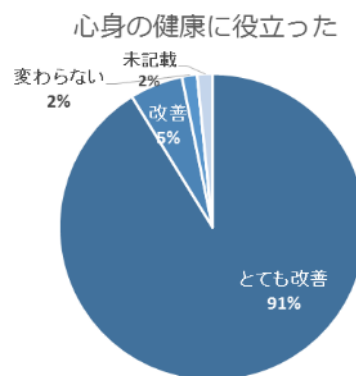
#### ⑦寂しさや不安が軽減した

とても改善	106
やや改善	14
変わらない	3
やや悪化	0
とても悪化	0
記述なし	2
合計	125



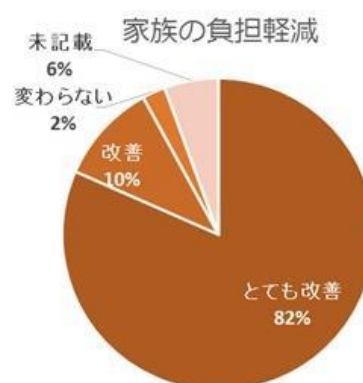
⑧心身の健康維持に役立った

とても改善	114
やや改善	7
変わらない	2
やや悪化	0
とても悪化	0
記述なし	2
合計	125



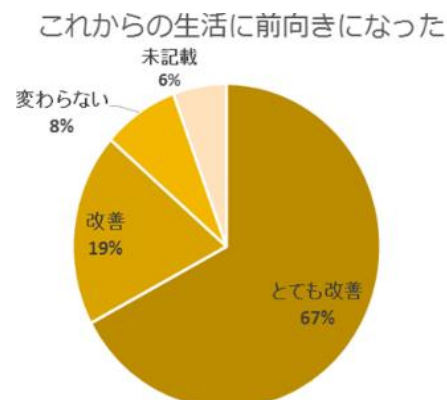
⑨家族の負担が軽減した

とても改善	102
やや改善	13
変わらない	3
やや悪化	0
とても悪化	0
記述なし	7
合計	125



⑩これからの生活に前向きになった

とても改善	84
やや改善	24
変わらない	10
やや悪化	0
とても悪化	0
記述なし	7
合計	125



<自由記述欄> (一部抜粋)

「レラを利用しているおかげで不安が減って、家計も助かっています。これからも安心して利用できるレラさんを頼りにしています。」

「年と共に病院に行くのが多くなってきます。病院は歩いて行けません。足も悪くなりレラの車は助けの神です。これからも続けますようお願い致します。」

「レラさんは何かあった時の心のより所です。スタッフの皆さんへ感謝、感謝。」

「レラで企画しているお買い物ツアーやお出かけが楽しみです。みなさんが親切で感謝しています。」

「いつまで生きられるかわからないがレラ様に助けられながら通院し、元気でくらしたいと思います。いつもいつもありがとうございます。」

「人数も足りない時もあるのにがんばって支援していただきありがとうございます。毎回講習など

で技術など身に付けてらっしゃるので、安心して乗せていただいています。」

「この先、レラが解散したらと考えると夜も眠れなく心細く感じています。」

## I-2. 【付き添いつきお出かけ送迎】



- ◆ 送迎利用者を対象とした、付き添いつきの「お出かけ」送迎を毎月一回実施した。
- ◆ 「出かける目的がない」「一人では出かけられない」「一緒に行く相手がいない」等の理由で、通院等の最低限の外出しか行っていない利用者が、送迎と付き添いを行うことにより、買い物や娯楽の外出を楽しめることを目的とした。
- ◆ 3年目となる2018年度は、全体の流れができ、月に一度順調に開催することができた。
- ◆ 利用者の認知度も上がり、毎月の開催を心待ちにする声も聞こえた。
- ◆ お出かけ内容に多様性を持たせることにより、できるだけ多くの利用者の関心を引き、多様な参加者が集まるよう工夫した。スタッフが積極的に車内で声掛けを行い、利用者の気持ちを外出に向けさせるよう、気を配った。利用者から「誘ってもらえてうれしかった」との声もあった。
- ◆ 通常送迎のスタッフとは別の、お出かけ送迎のための外部ボランティアが中心メンバーとして積極的に関わるようになり、担い手のすそ野が広がった。

### 《付き添いつきお出かけ送迎実施状況》

4月	お花見（加護坊山）	利用者 19名	スタッフ 18名
5月	整体・体操	利用者 11名	スタッフ 11名
6月	買い物（イオンタウン）	利用者 12名	スタッフ 12名
7月	音楽会	利用者 6名	スタッフ 11名
8月	映画会	利用者 8名	スタッフ 10名
9月	墓参り	利用者 16名	スタッフ 13名
10月	買い物（イトーヨーカドー）	利用者 16名	スタッフ 12名
11月	日帰り温泉（松島）	利用者 21名	スタッフ 15名
12月	買い物（蛇田方面）	利用者 16名	スタッフ 12名
1月	お茶っこ・カラオケ	利用者 15名	スタッフ 12名
2月	買い物（イトーヨーカドー）	利用者 10名	スタッフ 9名
3月	墓参り	利用者 13名	スタッフ 11名
<b>合計</b>		<b>163名</b>	<b>146名</b>



### I-3. 【ミニ生活支援】



- ◆ 新事業として、暮らしの小さな困りごとに対応する「暮らしのお手伝い」を開始した。
- ◆ 2018年度前半はお手伝い内容や実施方法を検討し、11月からは「お試し」として1時間以内のお手伝いを無料で実施した。
- ◆ 移動困難な状況の利用者の多くが、移動以外の暮らし全般にさまざまな困難を抱えている。特に、独居や高齢者のみの世帯で、ヘルパー等の手伝いを頼めない内容など、少しの手助けがあると生活がしやすくなる内容の手伝いを行った。
- ◆ 依頼のあった内容は、「庭の草取り」「枝払い」「電球交換」「窓ふき」「年末の神棚掃除」など。
- ◆ 「ずっと気になっていたが、身体が悪くできずにいた。ほっとした。」等、すっきりした様子での喜びの声が聞こえた。
- ◆ 試験実施期間の経験をもとに、支援内容や条件等の再検討を行い、次年度に向けて準備を行った。

#### 《暮らしのお手伝い実施状況》

11月	5件
12月	8件
2月	4件
3月	5件
合計	22件

### I-4. 【生きがい・交流ミニ菜園『レラ農園』】

- ◆ 生活支援、お出かけ送迎の一環として、利用者の生活充実感向上やスタッフ・ボランティアとの交流のためのミニ菜園を開始した。
- ◆ 石巻市渡波幸町（ワタマスマイル所有）の市民農園を借り、レラのスタッフが中心となり、野菜や花、ハーブ等を植えた。通常の管理作業はスタッフがを行い、月に数回、希望する利用者を畑に送迎し、農作業を手伝ってもらう。
- ◆ もともと畑作業をしていたが、体調不良や被災等によりその機会を失ってしまった利用者、外

出の機会が少なく土いじりに関心のある利用者などを対象とした。

- ◆ 利用者は無理のない範囲で（見ているだけでも可）農作業を楽しみ、その日に採れた野菜は持ち帰ることができる。
- ◆ 広報不足もあり、参加者はそれほど多くはなかったが、参加した利用者は楽しんでいた。
- ◆ 担当スタッフも少しずつ経験を重ね、失敗も重ねながら、畑の管理を順調に行った。季節ごとに作業できる野菜や収穫できる野菜があるよう意識した作物を選んだ。



## Ⅱ. 福祉有償運送事業

- ◆ 2018年度は送迎をこれまで通りの道路運送法上「無償の範囲内」とされる実費以下の利用者負担による送迎として行ったため、福祉有償運送事業を行わなかったが、今後の実施に向けて、スタッフ研修での意見出し、石巻市役所との勉強会等を開催した。

## Ⅲ. 情報収集・調査・情報発信事業 《Ⅲの事業に要した費用》…1,227千円

### Ⅲ-1.【福祉送迎講習会】

- ◆ 前年度までの開催に倣い、移動支援の担い手育成、地域での助け合い送迎促進、地域の事業者やボランティアの送迎技術向上を目的とし、福祉車両等を使用した移動困難者の送迎や介助等を総合的に学ぶ講習会を実施した。
- ◆ 福祉車両の操作、運転技術講習、移乗・介助、接遇、リスク管理、防災等、福祉送迎をおこなうにあたり必要な知識や技術を学ぶプログラム。
- ◆ 全国および宮城県内で国土交通大臣の認定運転協力者講習を開催している講師を依頼した。
- ◆ 当団体のスタッフは、講師補助として技術提供や進行役などを担うほか、安全運転や実技実習ではプログラム作成から参加し、講習を行った。ほかのスタッフは自ら受講し、資格取得、意識や技術の向上に努めた。
- ◆ 前年度に引き続き、異なるプログラムによる年3回のシリーズ開催とした。国土交通大臣認定の科目をすべて含め、独自の講義科目と合わせた講習プログラムを用意した。  
全科目を受講した者には国土交通大臣認定の運転協力者講習修了証を発行（発行者：NPO法人

移動サービスネットワークみやぎ)。1 回のみを受講も可能としたが、ほとんどの受講生が 3 回すべて受講した。



## 《講習内容》

### 第 1 回講習会

【日時】 2019 年 1 月 19 日（土） 10：00～16：00

【場所】 石巻市遊学館 大会議室

【講義内容】 ①移動サービスの種類 ②利用者心理と接遇 ③車いす操作とガイドヘルプ  
④介助者の心構えとマナー ⑤活動のリスク

【講師】 関西 STS 連絡会：柿久保浩次氏

移動サービスネットワークみやぎ：坂井正義氏

みらいサポート石巻：中川政治氏

【参加人数】 受講者 17 名

## 第2回講習会

【日時】 2019年2月9日(土) 10:00~16:00

【場所】 石巻市遊学館 大会議室

【講義内容】 ①交通法の基礎 ②福祉車両と適性診断 ③利用者理解  
④運転実技(福祉車両・セダン車両)

【講師】 ホップ障害者地域生活支援センター:竹田保氏、齊藤光弘氏、田島充氏、番場弘匡氏  
移動サービスネットワークみやぎ:坂井正義氏

【参加人数】 受講者 16名

## 第3回講習会

【日時】 2019年3月3日(日) 10:00~16:00

【場所】 石巻市遊学館 大会議室

【講義内容】 ①障がい者と防災 ②車いす介助・移乗 ④介助者のメンタルケア  
④石巻の交通 ⑤終了証交付

【講師】 NPO 法人生きる:宮脇貞夫氏、宮脇真理子氏  
移動サービスネットワークみやぎ:坂井正義氏

【参加人数】 受講者 16名

### Ⅲ-2.【他団体向け送迎技術研修】

- ◆ 利用者の送迎を行う団体や地域の助け合い送迎を行う人などを対象とした、送迎の実習受け入れを行った。
- ◆ 利用者の送迎を行うNPOのほか、開業予定の個人福祉タクシードライバーの受け入れを行った。
- ◆ 実習プログラムの整備、マニュアル作成を行った。

《送迎実技実習実施状況》

6月	2回
7月	9回
8月	1回
11月	1回
12月	1回
合計	14回

### Ⅲ-3.【持続可能な“暮らしの足”を考えるフォーラム in 東北】

- ◆ 2016年度、2017年度に開催してきた、東北地域(特に沿岸被災県)での移動を考えるフォーラムの継続実施に協力した。
- ◆ 実行委員会形式で、2018年度はみやぎ連携復興センターが復興庁事業として開催。移動支援 Rera は実行委員として協力した。

- ◆ テーマは「助け合い送迎で作る豊かな地域の移動」。今回は、住民同士の助け合い送迎に特に注目した内容での意見交換の場とした。
- ◆ 行政職員（交通、福祉、復興関係）、NPO、事業者（交通やまちづくり等）、大学等、さまざまな分野の参加者が集った。

【日時】 2018年10月16日（火） 13:30～16:30

【会場】 東北学院大学 ホーイ記念館ホール

【プログラム】 第一部：基調講演 第二部：パネルディスカッション

【参加者】 聴講者：150名



#### Ⅲ-4. 【移動について考えるアイデアソンイベント開催】

- ◆ 2018年度復興庁主催のハンズオン支援事業に採択され、2018年11月、大阪にて石巻地域の移動の課題を考えるアイデアソンイベント『東北と関西を結びお出かけについて考える“おでかけソン”』を開催した。
- ◆ 普段、東日本大震災やNPO活動、移動支援等に関わることの少ない、IT関係などの参加者と、移動困難な当事者、移動支援 Rera 関係者などが一緒に「移動の課題の共有」をテーマに作業を行うイベントであった。そのため、普段は“移動”について考えたり関わったりする機会の少ない分野の参加者が“移動”や“被災地”を考える良い機会となった。
- ◆ データ解析とワークグループに分かれ、「課題啓発広報物作成」「地図作成」等のアイデアを共有した。
- ◆ (株) NEC ソリューションズ、(株) フィラメント等、これまで関わる機会の少なかった企業との連携という新たなつながりが生まれた。
- ◆ アイデアソンの発展形として、『「移動の自由」を実現するためのインフラ研究会』が発足。学識者、企業、復興庁、NPO 等による情報共有と意見交換の場を持った。

#### 《イベント・研究会等実施状況》

11月 「東北と関西を結びお出かけについて考えるアイデアソン」開催（大阪）  
12月 第1回「移動の自由」を実現するためのインフラ研究会開催（東京）

- 1月 第2回「移動の自由」を実現するためのインフラ研究会開催（東京）  
 2月 復興庁「『新しい東北』交流会～東北の『今』を知ろう～」イベント内「お出かけソンから広がる、地域の楽しい移動」シンポジウム 登壇



### Ⅲ-5【公共交通利用促進】

#### 石巻交通検索 Web サイト運営

- ◆ 前年に引き続き、青森県八戸市の青い森ウェブ工房に委託し、検索内容の充実と、データ更新、スマートフォン対応などのデザイン変更等を行った。( <http://ishinomaki.buste.in/> )

#### 「石巻ミステリーツアー」開催

- ◆ 公共交通を利用し実体験することで地域の交通を理解し、「知らない」ことによる心理的な抵抗を減らして将来的な利用促進につなげるためのお出かけイベントを開催した。
- ◆ 当団体で運営する交通検索 Web サイトを使用し、バス等を利用したお出かけ（遠足）プランを作成。その後、実際に一緒にモデルプラン通りのお出かけを楽しみながら、Web サイトのモニタリング、交通のモニタリングを兼ねて検証。
- ◆ 2017 年度に試験的に実施した経験を踏まえて企画。当日はハッシュタグを活用し、Twitter、Facebook 等の SNS をリアルタイムで更新しながらの行動となり、盛り上がった。
- ◆ 地域住民の参加が予想よりも少なかったが、「お出かけソン」関係者など遠方からも多くの人に関心を寄せて参加してくれた。
- ◆ グループごとの行動で楽しみながら、石巻の交通の課題、Web サイトの問題点などを検証する機会を持つことができた。



【日時】 第1回 2018年12月1日(土) 10:00~17:30

第2回 2019年3月9日(土) 10:00~17:30

【場所】 コワーキング@石巻~石巻地域

【参加者】 第1回 11名 第2回 12名

#### 石巻地域の公共交通紹介

- ◆ 2016年度に作成した『石巻くらしとお出かけヒント集』や2017年度に作成した『移動支援ハンドブック』を増刷し、地域住民や支援者を対象に、石巻地域の移動手段、公共交通の種類や利用方法を紹介する場を持った。
- ◆ 利用者とのお出かけ送迎や送迎講習会、ミステリーツアー等、別なイベントの参加者を対象に、資料配布と交通利用意識の促進を働きかけた。



### Ⅲ-6【事例報告、ノウハウ学習、各種講演等】

- ◆ 災害救援や被災者支援活動の事例報告、東日本大震災の被災地の現状共有、住民主体の送迎の学習等の講師依頼が多く寄せられた。

#### 《講演等実施状況》

- |     |  |
|-----|--|
| 4月  | ラジオ石巻収録(いしのまきNPOセンター)  |
| 7月  | 石巻専修大学 復興ボランティア学 EXPO 出展(受講者向け体験授業)  |
| 9月  | 名取市助け合い団体送迎勉強会視察、送迎勉強会講師<br>南三陸町地域づくり勉強会送迎講習講師   |
| 10月 | 山形市生涯学習セミナー講習会講師<br>柴田町社協主催移動支援勉強会講師   |
| 11月 | 国連 女性リーダー研修講師<br>横浜復興支援まつりブース出展<br>Champion of Change 日本大賞ノミネート 授賞式参加                        |
| 12月 | 宮城県社会教育研修講師登壇  |
| 1月  | 東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)主催『3.11の今がわかる会議 in 名古屋』パネリスト登壇  |
| 2月  | 移動サービスネットワークみやぎ主催『移動支援フォーラム』コーディネーター参加<br>東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)主催『3.11の今がわかる会議 in 神戸』パネリスト登壇 |
| 3月  | 札幌『持続可能な災害ボランティアのあり方を考えるシンポジウム』登壇  |

宮城県主催『8年後の今、これからの復興支援を考える会議～絆力を活かした震災復興支援事業報告会&交流会～』報告



#### IV. 住民同士の交流・親睦事業

2018年度は事業を行わなかった。

#### V. その他の事業

《Vの事業に要した費用》…1,324千円

##### V-1【外部協力者と連携した組織基盤強化】

- ◆ 2018年度も組織づくりと運営を考える場として、月に一度のスタッフ研修を活用した。
- ◆ アドバイザーに引き続き地域社会デザイン・ラボの遠藤智栄氏を招き実施した。
- ◆ 事業の役割分担、進捗確認、意見交換やアイデア出し、安全運転講習、課題解決に向けた話し合いなどを行った。
- ◆ 普段の送迎業務から離れて事業全体を考え、運営上の課題を共有する重要な役割を担っている。

##### 《実施日程》

4月17日	第1回	『キックオフ、ボランティア募集(ちらし配り)』他
5月17日	第2回	『岩手県北上市 NPO法人くちない視察、ワークショップ』他
6月19日	第3回	『送迎利用者の整理、車いす実習』他
7月12日	第4回	『グループ別打合せ、安全運転』他
8月6日	第5回	『ケース検討、事業計画確認』他
9月12日	第6回	『福祉有償運送、ケース検討』他
10月16日	第7回	『持続可能な暮らしの足を考えるフォーラム』参加



11月3～4日	第8回	『中長期計画、車両操作マニュアル作成』他（合宿）
12月19日	第9回	『事業計画、募金キャンペーン』他
1月23日	第10回	『募金キャンペーン、ボランティア募集』他
2月14日	第11回	『ボランティア募集、グループ別打合せ』他
3月12日	第12回	『事業計画、チーム別研修』他



## VI. 運営に関する報告

### 移動支援 Rera 会員数

正会員	16名	(前年と同数)
賛助会員	65名	(前年と同数)

### 寄附・寄贈

◆ 2018年度受取寄附金	12,340,299円	(前年比 +4,123,788円)
◆ 2018年度 寄附件数	340件	(前年比 +47件)

以上